

令和3年5月28日

八尾市長 大松 桂右 様

八尾市議会議長
奥田 信宏

新型コロナウイルスワクチン接種に関する緊急要望書

政府は、新型コロナウイルスの変異株などによる全国的な感染拡大に対応するため、3回目となる緊急事態宣言を発出し、さらに、期間が延長されているところである。

こうした取り組みの中で、今まで以上の感染予防対策の実施や医療提供体制の拡充とともに、何よりも、市民への円滑かつ迅速なワクチン接種を進めることが重要と考える。

コロナワクチンの接種は、今までにない国民的事業であり、希望する全ての市民が接種対象であり、万全の準備が必要と考える。

ついでには、本市におけるワクチン接種の体制整備について、下記のとおり緊急要望するものである。

記

1. 政府は、7月末を念頭に高齢者へのワクチン接種を終えられるよう取り組むとしているが、多くの高齢者が接種を希望していることから、本市の接種計画を適宜明確にするとともに、大阪府と密接な連携の下、接種に当たる医療従事者への優先的な接種を早急に行われたい。
2. アナフィラキシー・ショック等の副反応報道がなされている中、ワクチン接種に不安を抱える市民も多い。また、5月21日にファイザー社のワクチンに加えモデルナ社やアストラゼネカ社のワクチンの薬事承認がされる中、接種対象ワクチンの安全性等について、大阪府と連携しタイムリーで分かりやすい丁寧な情報発信に取り組まれない。
3. 接種会場の一覧表や予約案内の最新情報について、現在はホームページ上での確認が前提となっているが、高齢者などが理解するのに苦労している現状がある。今後の発信に当たっては、本庁1階のワクチン接種相談窓口や各出張所での最新情報の広報など、アナログ媒体の拡充や、文字を大きくするなど分かりやすく発信されたい。また、デジタルでの予約が困難な高齢者に対し、ウェブ予約の支援を実施されたい。

4. 今後の集団接種の予約については、電話とウェブの予約枠を明らかにし、電話予約の枠を一定数確保すること。
5. 現在、各医療機関が予約で混み合っており、市民に不安を与えている状況がある。今後ワクチンが十分供給され、希望者全員に接種できるということを速やかに広報し、不安解消に努められたい。
6. 集団接種会場において、事前に予診票を記入していないことも想定される。会場でアドバイスを受けながら記入できるよう、アドバイザー職員と記入用の座席の確保など十分に配慮すること。
7. 今後、高齢者の優先接種と基礎疾患を有する者への優先接種が並行して行われることが想定される。国から示されている「先行予約期間」の設定を適切に行い、この期間においては、障がい者の方々等へのきめ細かな配慮を行い、速やかな予約につながるよう特段の取り組みを行われたい。
8. 視覚・聴覚障害、発語障害、精神疾患などのある接種希望者に対しては、事前の情報提供の充実と接種会場での円滑な接種に必要な手話通訳や筆談ボードなどの合理的配慮を十分に講じること。
9. 車いす利用の接種希望者が会場で移動の不自由が生じないように、スロープの用意や幅広い動線の確保、車いす対応トイレへのアクセスなど、合理的な配慮を十分に講じること。
10. 盲導犬と一緒に接種会場に来訪する場合も想定し、盲導犬の待機について特段の取り組みを行われたい。
11. 今後、一般の市民を対象とした接種を想定し、特設会場による集団接種のみならず、地域のかかりつけ医などでの接種が広範にできるよう、国が新たに示した接種単価の上乗せや医師・看護師等の派遣事業など活用の上、地域医師会との協議を引き続き進めること。
12. 接種会場で予約のキャンセルがあった場合に、ワクチンを無駄にしないよう、事前にキャンセル待ちの登録等を行うことを検討されたい。
13. 集団接種会場における経過観察時間を活用して、接種済者が注意すべき事項、例えば接種後すぐに体内の免疫が形成されるわけではなく引き続き十分な感染予防が必要であること、翌日に発熱などの副反応が顕著であることなどについて分かりやすく周知を図る映像などを上映されたい。
14. 国や府による大規模接種センターが利用できることとなったが、八尾市民に制度の概要を分かりやすく丁寧に周知すること。

15. 医療従事者と施設入所者へ優先的にワクチン接種を行うこと。
16. 市立病院で医療従事者以外へのワクチン接種も行うこと。
17. 外国人の接種予約について十分な配慮を行うよう手立てを尽くすこと。